

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：令和5年1月～令和5年12月



フォーミング抑制
剤・RPF製造設備

発行日：令和6年5月15日

大分エコセンター株式会社

目 次

1. 組織の概要	・・・ 1～7
1)事業者名、代表者名など	
2)所在地	
3)環境管理責任者名及び担当者連絡先	
4)事業内容	
5)事業規模	
6)事業年度	
7)許可の内容	
8)施設等の状況	
9)廃棄物処理フロー	
2. 対象範囲	・・・ 8
1)認証・登録範囲	
2)レポート対象期間及び発行日	
3)EA21活動組織図	
4)EA21役割と責任及び権限	
3. 環境経営方針	・・・ 9
4. 環境経営目標	・・・ 10
5. 環境経営計画	・・・ 11
6. 環境経営目標の実績	・・・ 12
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・ 13
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・ 14
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果	・・・ 15
10. エコアクション21活動	・・・ 16～18

1. 組織の概要

1) 事業者名、代表者名など

大分エコセンター株式会社

代表取締役 大山 泰正

設立 平成11年11月19日

資本金 1,000万円

2) 所在地

〒870-0108 大分県大分市大字三佐字大新田1354番地の8

3) 環境管理責任者名及び担当者連絡先

環境管理責任者 業務管理部長 平尾 敏美

担当者 平尾 敏美

連絡先 TEL 097-521-1146

FAX 097-522-3195

E-mail misa@eco-center.co.jp

4) 事業内容

① 産業廃棄物の収集・運搬業及び中間処理業

② 一般廃棄物中間処理業

③ 金属の売買

5) 事業規模

活動規模	単位	令和3年	令和4年	令和5年
産業廃棄物処理量	t	11,020	12,790	11,455
売上高	百万円	539	632	626
従業員数	人	11	11	12
床面積	m ²	11,806	11,806	11,806

※定義 処理量：受託した産業廃棄物の処理量

売上高：大分エコセンター(株)の売上高

※令和3年内訳 (単位：t)

一般廃棄物収集運搬量	0	産業廃棄物収集運搬量	5,856
一般廃棄物中間処理量	0.876	産業廃棄物中間処理量	11,455

6) 事業年度

1月～12月

7) 認証登録の範囲

全組織、全活動を対象とする。

7) 許可の内容

大分エコセンター(株)

許可証	許可	許可番号	許可 年月日	許可の有効 年月日	事業の範囲	
					事業区分	廃棄物の種類
産業廃棄物処分業	大分市	08820066979	H27.6.18	R11.1.19	中間処理 (破碎、圧縮) (選別、切断) (圧縮・固化)	廃プラスチック類、木くず、紙くず、ゴムくず、 金属くず、繊維くず、がれき類、鉱さい、 ガラスくず及び陶磁器くず、汚泥
産業廃棄物収集運搬業	大分市	08810066979	H27.1.30	R11.1.19	収集運搬	金属くず、廃プラスチック類、木くず、紙くず、 ガラスくず及び陶磁器くず、ゴムくず、汚泥 繊維くず、がれき類、燃え殻、廃アルカリ、 廃油、廃酸、ばいじん、動植物性残さ、動 物のふん尿、施行令に掲げる産業廃棄物
		積替保管施設 面積: 51.45㎡ 容量: 33.6 m³ 高さ: 0.85m 種類: 金属くず、廃プラスチック類、 廃酸(廃バッテリーに限る)				
産業廃棄物収集運搬業	大分県	04402066979	H27.2.2	R11.2.1	収集運搬	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ、金属くず、ガラスくず等、 廃石膏ボード、動物のふん尿、がれき類、 ゴムくず、鉱さい、ばいじん、13号廃棄物
産業廃棄物収集運搬業	福岡県	04000066979	H27.10.8	R9.10.7	収集運搬	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、 紙くず、木くず、鉱さい、
産業廃棄物収集運搬業	熊本県	04305066979	H28.6.6	R10.6.1	収集運搬	紙くず、木くず、金属くず、廃プラスチック類
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	大分県	04452066979	H27.10.24	R9.10.23	収集運搬	廃石綿等、廃油、廃酸、廃アルカリ、 汚泥
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	大分市	08860066979	H27.10.19	R9.9.26	収集運搬	廃石綿等、廃油、廃酸、廃アルカリ、 汚泥
		積替保管施設 面積: 20.0㎡ 容量: 16.0 m³ 高さ: 0.8m 種類: 廃酸(廃バッテリー)				
一般廃棄物処分業許可	大分市	指令第 273号	R4.4.26	R8.4.5	中間処理 (破碎)	事業系ごみ(廃タイヤ、木くず)
一般廃棄物収集運搬業	大分市	指令第 226号	R5.4.1	R7.3.31	収集・運搬	特定家庭用機器廃棄物 事業系ごみ(紙くず・木くず・繊維くず その他事業系一般廃棄物)
引取業登録通知書	大分市	20881000127	H29.9.21	R9.9.10		使用済自動車
古物商	大分県	第941180000491	H12.10.20	—		
おおいた優良産廃 処理業者認定証	大分市	認定 第5号	H27.1.30	R11.1.19		
おおいた優良産廃グリーン 事業者認証取得	大分県	GC-0021	R5.10.24	R8.3.31		炭素部門
計量証明事業登録証	大分県	第 168号	H27.6.29	—	質量	

8) 施設等の状況

(1) 運搬車両・重機の種類と台数

ダンプ車(6台)



大型つかみ(3台)



トレーラー(1台)



車種	車両番号	所有者	使用者		
			大山金属	エコセンター	オーライン
大型つかみ	大分 100 は 2491	大山金属	50%	50%	
	大分 100 は 2764	〃	〃	〃	
	大分 100 は 4253	〃	〃	〃	
8t つかみ	大分 100 は 4779	〃	〃	〃	
5tつかみ(ダンプ)	大分 100 は 1886	エコセンター		100%	
7t ユニック	大分 100 は 2208	大山金属	50%	50%	
ダンプ車	大分 100 は 3367	大山金属	20%	80%	
	大分 100 は 3371	大山金属	〃	〃	
	大分 100 は 9441	オーライン		30%	70%
	大分 100 か 8004	エコセンター		〃	〃
	大分 100 か 8935	オーライン		〃	〃
	大分 100 は 4861	エコセンター		〃	〃
2tトラック	大分 100 す 1310	エコセンター		100%	
トレーラー	大分 100 か 8781	オーライン			100%
乗用車	大分 400 あ 1197	エコセンター	60%	40%	
	大分 400 あ 1204	大山金属	20%	80%	
	大分 581 う 8663	エコセンター	20%	80%	

マグ付ユンボ(3台)



切断ユンボ(2台)



つかみユンボ(4台)



タイヤショベル(3台)



フォークリフト(3台)



- * 中型つかみ (2台)
- * 7tユニック (1台)
- * 2tトラック (1台)
- * 乗用車(3台)

* 放射線検知装置



(2) 処理施設の種類



1. Aヤード(鉄スクラップヤード:大山金属エリア)

① 94kw スクラップベラー(プレス機:圧縮)



施設の種類: 圧縮施設
 処理能力: 100 t/日
 種類: 廃プラスチック類、
金属くず、ゴムくず、紙くず、
 ガラスくず及び陶磁器くず、
 繊維くず

自動販売機、業務用冷機などの大型機器や缶類を、搬入・搬出しやすくするため、サイコロ状に圧縮処理します。(70cm角)

② 432kw スクラップシャー(ギロチン:切断)



施設の種類: 切断施設
 処理能力: 396 t/日
 種類: 廃プラスチック類、
金属くず、ゴムくず、紙くず、
 木くず、繊維くず

大量のスクラップをスムーズな流れで切断する最新のせん断処理機械です。

2. Bヤード(産業廃棄物ヤード:大分エコセンターエリア)

③ 336kw 廃タイヤ破碎プラント(タイヤ・ベルト:破碎5t/h)



施設の種類：破碎施設
処理能力：24.4 t/日
種類：廃プラスチック類、
木くず、金属くず

使用済みタイヤを破碎後、タイヤチップ燃料としてリサイクルします。普通自動車タイヤで3,000本/日の処理が可能。

④ 675kw シュレッダープラント(廃プラ類:破碎)



施設の種類：破碎施設
処理能力：31.2 t/日
種類：廃プラスチック類、
木くず(66.4t/日)、紙くず
がれき類(177.6t/日)、
繊維くず、ゴムくず、がれき類、金属くず、
ガラスくず及び陶磁器くず、鋳さい

大型スクラップや複合素材物・廃プラ・木くずなどを破碎・選別処理し、金属を効率よく回収します。

⑤ 165kw バイオマス燃料製造プラント(木くず:破碎4~6t/h)



施設の種類：破碎施設
処理能力：48 t/日(木くず)
種類：木くず、廃プラスチック類、がれき類、マットレス、布団

当初は根株や伐採木・間伐材をチップ化し、木質バイオマス燃料を製造する破碎プラントとして設置したが、バイオマスは原料確保、販売の維持継続で難しい面があり、現状は廃プラ、マットレス、布団等が中心になっている。



3. Dヤード(廃プラスチック燃料ヤード:大分エコセンターエリア)

⑥ 495kw フォーミング抑制剤・RPF製造設備(破碎・成形)



施設の種類：破碎施設(A)
圧縮・固化施設(B)
処理能力：17.6 t/日(混合物)
種類：廃プラスチック類、ゴムくず、
紙くず、木くず、繊維くず



廃プラスチック、木くずを主原料とするRPF製造や、
比重調整用の鉄粉を混合して成形固化したフォー
ミング抑制剤を製造する。

4. Eヤード(都市鉱山ライン:大分エコセンターエリア)

⑦ 44kw 小型家電破碎・選別ライン(破碎・選別:3.2t/8h)⇒携帯電話:25,000個/日



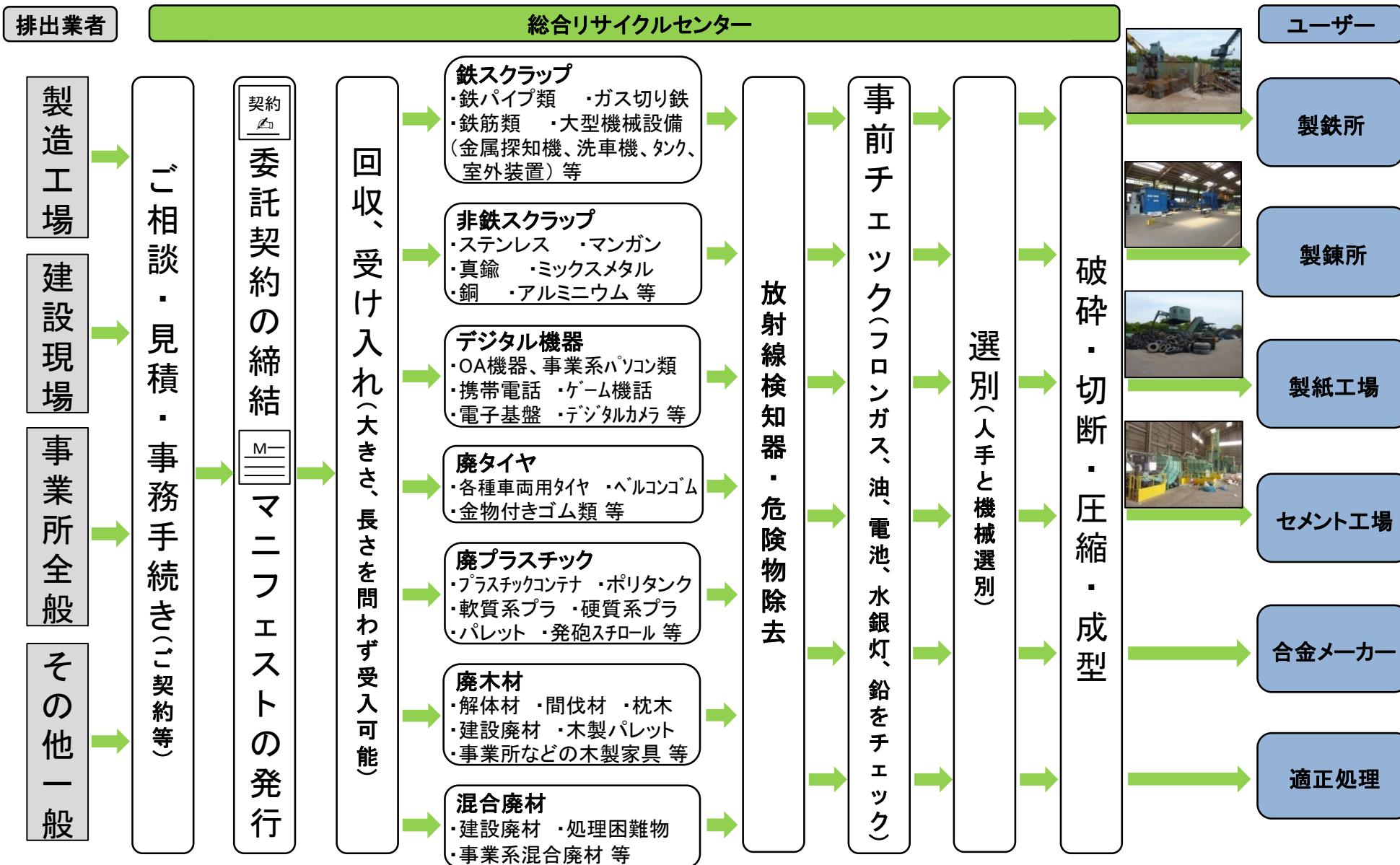
施設の種類：破碎施設
処理能力：3.2 t/日
種類：金属くず、廃プラスチック類、
ガラスくず及び陶磁器くず

携帯電話やデジタルカメラなど、小型家電を破碎し、
レアメタルなど希少金属を選別、回収します。

リサイクルの流れ

【廃棄物処理フロー】

大山金属株式会社
大分エコセンター株式会社
オーライン株式会社



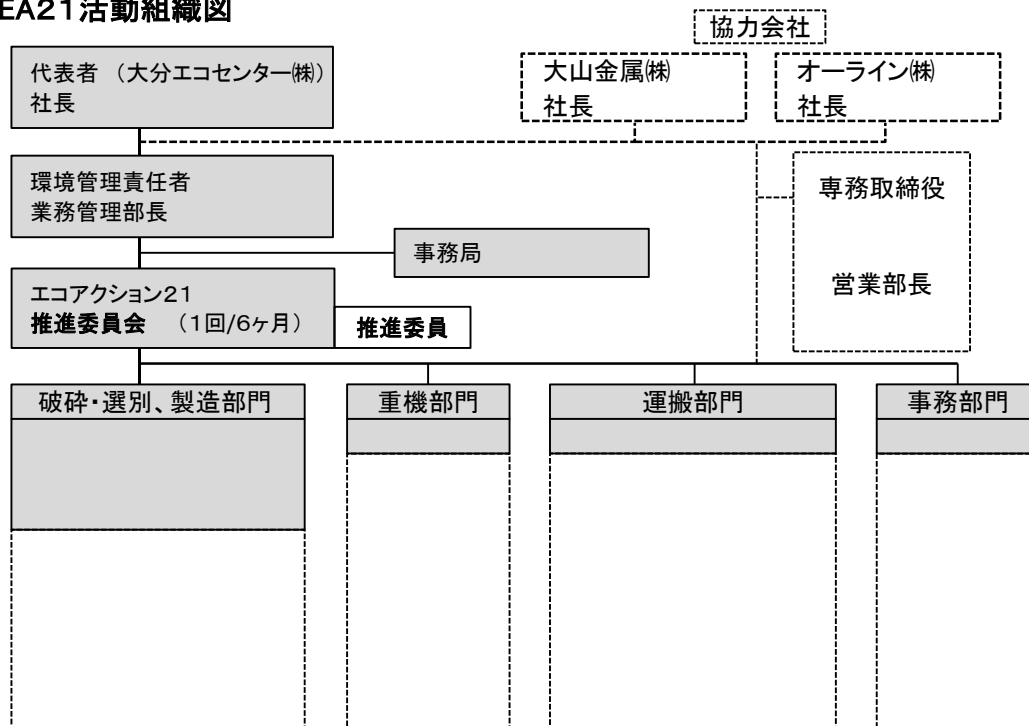
2. 対象範囲

令和4年12月31日 現在

1) 認証・登録範囲 : 全組織・全活動

2) 対象期間 : 令和 5 年1月1日～令和 5 年12月31日

3) EA21活動組織図



4) EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	- 環境経営に関する統括責任者 - 環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する - 環境管理責任者の任命 - 環境方針を定める - 環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する - 代表者による全体の評価と見直しを実施する - 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 - 環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する - エコアクション21推進委員会の責任者 - 環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 - 各部門の環境目標、環境活動計画、実施体制の確認と全体調整 - 環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 - 問題点の是正及び予防処置の承認 - 環境活動レポートの確認
事務局	- 環境管理責任者の任命補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 - 環境関連文書、記録の管理 - 環境活動に関する実績のとりまとめ - 外部環境コミュニケーションに関する窓口 - 環境活動レポートの作成
エコアクション21推進委員会	- 環境目標、環境活動計画の伝達 - 社内の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 - 各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 - 効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
部門長	- 自部門における環境活動及び環境活動計画の企画・作成・実施 - 自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する - 自部門に必要な手順書の作成、管理 - 自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	- 環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する - 自主的、積極的に環境活動に参加する

3. 環境経営方針

■基本理念

大分エコセンターは、廃棄物を適切に分別処分し、資源リサイクルを積極的に進め、再資源化に取り組めます。また、当社の総合リサイクル事業を通じて、地域社会に貢献しながら環境経営の継続的なサービスを提供します。更に、エコアライアンスネットワーク(環境保護の地域連携協働体)を展開し、経済活動と地球環境が好循環する持続可能な社会の実現を目指します。

■行動指針

1. 具体的に次の事に取り組めます。

- ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
- ②計画的、効率的な設備稼働による消費電力の削減を推進する。
- ③当社の事業を通じて廃棄物の再資源化率100%を目指す。
- ④水資源を有効に活用し、節水に努める。
- ⑤教育訓練や研修を通じて業務の生産性向上を図り、環境負荷を低減する。
- ⑥原材料及び事務用品のグリーン購入に努める。
- ⑦事業所周辺の清掃活動や緑化維持を推進する。
- ⑧外部の企業や団体と連携して新たな再資源化事業を推進する。
- ⑨見学者を積極的に受け入れるとともに、会社として社外後援会等で地域との連携に努めます。

これらについて環境目標、環境経営方針を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3. 適用されるこの環境経営方針は、全従業員に周知するとともに社内外に公表します。

また、定期的に法令の営業情報を収集し社内で情報を共有化する事により法令順守を推進します。

改定日： 令和3年10月18日

大分エコセンター株式会社

代表取締役

大山 泰正

4. 環境経営目標

各年度の対象期間は、1月～12月

環境方針	選択課題	基準年度 令和3年 (2021年)	令和4年度 (2022年) 目標	令和5年度 (2023年) 目標	令和6年度 (2024年) 目標
1	二酸化炭素排出量原単位 kg-CO2／売上高百万円	1.745 kg-CO2	1.727 基準年度比 △1%	1.710 基準年度比 △2%	1.693 基準年度比 △3%
1-1	ガソリン消費量原単位 ℓ／売上高百万円	3.798 ℓ	3.760 基準年度比 △1%	3.722 基準年度比 △2%	3.684 基準年度比 △3%
1-2	軽油消費量原単位 ℓ／売上高千円	0.661 ℓ	0.654 基準年度比 △1%	0.647 基準年度比 △2%	0.641 基準年度比 △3%
2	電力消費量原単位 kWh／売上高千円	2.237 kWh	2.215 基準年度比 △1%	2.192 基準年度比 △2%	2.170 基準年度比 △3%
3	受託した廃棄物の再資源化 (再資源化率)	92.9 %	92.0 基準年度比 △1%	93.8 基準年度比 +1%	94.8 基準年度比 +1%
4-1	上水使用量原単位 ℓ／売上高百万円	1.323 m3	1.310 基準年度比 △1%	1.297 基準年度比 △2%	1.283 基準年度比 △3%
4-2	工業用水使用量原単位 ℓ／売上高百万円	5.600 m3	5.544 基準年度比 △1%	5.488 基準年度比 △2%	5.432 基準年度比 △3%
5	業務の生産性向上 (教育訓練や研修)	教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年
6	社会貢献への参加	地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年

※電力のCO2調整後排出係数は、九州電力の2021年度の0.382kg-CO2/kWhを使用。

※再資源化率＝(再資源化量＋再資源化委託量)／総量

5. 環境経営計画

環境方針 の番号		目標課題	具体的な行動(活動)	頻度
二酸化炭素排出量削減	1-1	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日
			2. アイドリングを少なくする。	毎日
			3. 社用車の使用頻度を必要最小限に抑える。	毎日
	1-2	軽油消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日
			2. アイドリングを少なくする。	毎日
			3. 効率的な配車計画で走行距離を減らす。	毎日
			4. 重機作業は過剰な負荷をかけない。	毎日
	2	電力消費量削減	1. デマンド制御に基き、計画的・効率的に設備を稼働する。	毎日
			2. 冷暖房設定温度の厳守。夏25℃、冬24℃を基本とする。	毎日
			3. エアコンのフィルター清掃。	毎月
3		受託した産業廃棄物の再資源化率 向上	1. 引取作業時の不要物排除。	毎日
			2. 選別ラインの有効活用。	毎日
4		水資源の有効活用	1. 上水使用時は垂れ流しをしない様節水に努める。	毎日
			2. 計画的な操業で工業用水の節水に努める。	毎日
5		業務の生産性向上	1. エコアクション21取組説明会の実施。	都度
			2. 関係法規の研修会実施。	都度
			3. 非常事態を想定した訓練の実施。	都度
			4. 一仕事・一片付けの確実な実施。	毎日
6		社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	都度
			2. 各現場1回／日以上のごみ拾い活動。	毎日
			3. 社内緑地帯の維持管理活動(草刈等)。	都度
			4. 見学者の受入れ体制の充実。	都度

6. 環境経営目標の実績

対象期間: 令和5年1月～令和5年12月

評価基準: ○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

環境方針 番号	選択課題		基準年度	令和5年度目 標(2023年)	令和5年度目 標(2023年)	目標	評価
			令和4年度 (2022年)	基準年度比 △1%	実績	達成率	
1	二酸化炭素排出量原単位 kg-CO2／売上高百万円	計	1,727	1,710	1,718	100%	○
					(1,075,604kg-CO2)		
		評価と 本年度の 取組内容	・処理量は若干減少したがガソリン・軽油・電力消費量共に減 少し原単位でCO2排出量の目標は達成できた。 ・引き続きCO2削減に向けた取り組みを実施する。				
1-1	ガソリン消費量原単位 ℓ／売上高百万円	計	3,760	3,722	3,067	121%	○
					(1920 ℓ)		
		評価と 本年度の 取組内容	・引き続きエコドライブを継続して行く。				
1-2	軽油消費量原単位 ℓ／売上高千円	計	0.654	0.647	0.444	146%	○
					(277947ℓ)		
		評価と 本年度の 取組内容	・運搬料は若干減っているが、エコドライブ、アイドリングス トップを心がけた活動を実施し、原単位で目標達成。 ・引き続きエコドライブを継続して行く。				
2	電力消費量原単位 kWh／売上高千円	計	2,215	2,193	1,389	158%	○
					(869893 kWh)		
		評価と 本年度の 取組内容	・処理量は若干減っているが計画的・効率的な設備稼働を 実施することにより目標達成できた。 ・今後もデマンド制御に基づいた設備稼働を実践する				
3	受託した産業廃棄物の再資源化 (再資源化率：%)	計	92.9	91.1	71.6	79%	×
		評価と 本年度の 取組内容	・混合廃棄物、処理困難物品が増加しており、人海戦術で 破碎処理前に分別して努力しているが目標は未達。 ・引き続き排出事業者と連携し再資源化向上を目指してして行く				
4-1	上水使用量原単位 ℓ／売上高百万円	計	1,310	1,297	964	135%	○
					(604m³)		
		評価と 本年度の 取組内容	・事務所周りを中心に上水の節水に努めたことにより 使用量が減少し目標達成。 ・引き続き節水に努める。				
4-2	工業用水使用量原単位 ℓ／売上高百万円	計	5,544	5,489	5,247	105%	○
					(3285m³)		
		評価と 本年度の 取組内容	・計画的な設備稼働で工業用水の節水に努めたことに 目標達成。 ・引き続き節水に努める。				
5	業務の生産性向上（教育訓練や研修）		教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年	教育訓練・研修 4回／年	100%	○
6	社会貢献への参加		地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年	地域の清掃活動や ボランティア参加 2回／年	100%	○

※※電力のCO2調整後排出係数は、九州電力の2022年度の0.407kg-CO2/kWhを使用。

※原単位の分母「売上高円＝626,310,002」を使用。

※再資源化率＝(再資源化量＋再資源化委託量)／総量

7. 環境経営計画の取組状況とその評価

基準:○できた △一部達成 ×できなかった

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	頻度	対象部門		評価者
				事務所	現場	
二酸化炭素排出量削減	1-1 ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日	○		○
		2. アイドリングを少なくする。	毎日	○		○
		3. 社用車の使用頻度を必要最小限に抑える。	毎日	○		○
	1-2 軽油消費量削減	1. エコドライブの推進。加速・減速の少ない運転。	毎日		○	○
		2. アイドリングを少なくする。	毎日		○	○
		3. 効率的な配車計画で走行距離を減らす。	毎日	○	○	○
		4. 重機作業は過剰な負荷をかけない。	毎日		○	○
	2 電力消費量削減	1. デマンド制御に基き、計画的・効率的に設備を稼働する。	毎日		○	○
		2. 冷暖房設定温度の厳守。夏25℃、冬24℃を基本とする。	毎日	○	○	○
		3. エアコンのフィルター清掃。	毎月	○		○
3	廃棄物の再資源化率向上	1. 引取作業時の不要物排除。	毎日		○	△
		2. 選別ラインの有効活用。	毎日		○	○
4	水資源の有効活用	1. 上水使用時は垂れ流しをしない様節水に努める。	毎日	○	○	△
		2. 計画的な操業で工業用水の節水に努める。	毎日		○	○
5	業務の生産性向上	1. エコアクション21取組説明会の実施。	都度	○	○	○
		2. 関係法規の研修会実施。	都度	○	○	△
		3. 非常事態を想定した訓練の実施。	都度	○	○	○
		4. 一仕事・一片付けの確実な実施。	毎日		○	△
6	社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	都度	○	○	○
		2. 各現場1回／日以上のごみ拾い活動。	毎日	○	○	△
		3. 社内緑地帯の維持管理活動(草刈等)。	都度	○	○	○
		4. 見学者の受入れ体制の充実。	都度	○	○	○

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等ありませんでした。

	関係法令	チェック項目	チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	1 一般廃棄物処分業の許可	一般廃棄物処分業許可証	平尾	R6.1.16	○
		2 一般廃棄物収集運搬業の許可	// 収集運搬業許可証	平尾	R6.1.16	○
		3 産業廃棄物管理票(マニフェスト)	マニフェスト管理状況確認	平尾	R6.1.16	○
		4 マニフェスト交付状況の行政報告	交付等状況報告書	平尾	R6.1.16	○
		5 産業廃棄物処分業の許可	産業廃棄物処分業許可証	平尾	R6.1.16	○
		6 産業廃棄物収集運搬業の許可	// 収集運搬業許可証	平尾	R6.1.16	○
		7 収集運搬車の表示及び許可証の写し、マニフェスト携帯	現場確認	平尾	R6.1.16	○
		8 特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証	平尾	R6.1.16	○
		9 特別産業廃棄物の保管措置	現場確認	平尾	R6.1.16	○
		10 産業廃棄物処理施設の設置	産業廃棄物処理施設設置申請書	平尾	R6.1.16	○
		11 産業廃棄物の委託契約	委託契約書許可証の写し	平尾	R6.1.16	○
		12 産業廃棄物の保管場所表示保管基準遵守	現場確認	平尾	R6.1.16	○
2	浄化槽法 (浄化槽の保守点検及び清掃)	1 浄化槽管理者の保守点検及び清掃	浄化槽保守点検報告書	平尾	R6.1.17	○
		2 浄化槽の定期検査	検査結果報告書	平尾	R6.1.17	○
3	使用済自動車の再資源化等に関する法律	1 引取業者の登録及び更新	引取業者登録通知書	平尾	R6.1.17	○
4	消防法	1 指定可燃物貯蔵所又は取扱の届出	指定可燃物貯蔵所又は取扱届出書	平尾	R6.1.17	○
		2 消防用設備等の点検	消防用設備等点検結果報告書	平尾	R6.1.17	○
5	水質汚濁防止法	1 生活環境に係る一律排水基準	濃度計量証明書	平尾	R6.1.17	○
		2 生活排水による水質汚濁の防止と処理	現場確認	平尾	R6.1.17	○
6	大気汚染防止法	1 大気汚染防止	現場確認	平尾	R6.1.17	○
7	振動規制法	1 特定施設の設置届	廃棄物処理施設設置許可証	平尾	R6.1.17	○
8	フロン排出抑制法	1 エアコン点検	エアコン点検表	平尾	R6.1.17	○

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	大分エコセンター株式会社
見直し実施日	令和6年 1月26日 (金)
出席者	代表者 大山 泰正 環境管理責任者 平尾 敏美 事務局 平尾 敏美

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント(次年度取組)
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	環境関連法規等の遵守状況で特に問題はなかった。	引き続き遵守に努め、全体で共有して下さい。
2 環境目標の達成状況	稼働率UPに伴いCO2排出量減となり原単位では目標を達成できた。	可能な範囲でCO2排出量の削減に努めて下さい。
3 環境活動計画の実施状況	工場排水には特に注意し、今年は工場内の側溝の本格的に行った。4月1日より朝・夕のアルコールチェックは法改正により管理者により運転手のみ開始。	今後も計画的に実施して下さい。
4 問題点の是正、予防の状況	特に問題はなかった。	問題なし
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	外部からの苦情等は1件もなかった。	スクラップ、廃棄物、出荷製品の構内堆積の自然発火とならないよう配慮在庫を常に把握注意すること。
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	新型コロナの影響で全員の訓練はしなかったが一部の人で行った。	防災訓練は定期的にテーマを決めて実施して下さい。
その他	8月16日に環境省エコアクション21長期認証・登録事業者として感謝状を大分市長より頂きました。10月24日おおいの優良産廃グリーン事業者認証取得	更に、エコアクション21を従業員一人一人が再認識して、日々の行動に繋げるよう努力してください。

見直しの必要 と代表者の指示 の判断	① 環境経営方針	継続する
	② 環境経営目標	継続する
	③ 環境経営計画	継続する
	④ 環境経営システム	継続する
	⑤環境経営計画実施体制の推進	継続する
	その他の指示	特になし

エコアクション21認証・登録永年継続として 環境省より感謝状を頂きました!!

この度、環境省が2004年に創設した「エコアクション21」認証・登録制度を通じ、環境に配慮した事業活動へ長年にわたって取り組んだことに対して、昨年大分市より同様な感謝状を頂きましたが、今年も8月16日に環境省より頂きました。

弊社は、平成29年にエコアクション21の認証・登録を取得し、環境に配慮する活動をグループ会社全体で積極的に取り組んで参りました。

今後もエコアクション21を通して法令を遵守して、排出事業者と共に目まぐるしく変わる環境に対応しながら環境経営の促進に取り組んで参ります。



10. エコアクション21活動

1) 教育訓練状況 (4月11日)



2) 構内 排水溝の清掃



(記録④)

環境・安全教育実施記録

(令和5年度)

	実施日	場所	対象(出席者)	教育の内容	講師
①	1月6日	社員詰所	社員全員	令和5年度行動計画について	社長
②	3月10日	社員詰所	社員全員	新型コロナウイルス感染症への対応について	環境管理責任者
③	5月8日	社員詰所	社員全員	春の全国交通安全運動の実施について	環境管理責任者
④	5月8日	社員詰所	社員全員	TOTOアクアテクノ(株)大分工場要求事項について	環境管理責任者
⑤	6月3日	社員詰所	社員全員	梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について	環境管理責任者
⑥	6月26日	社員詰所	社員全員	おおいた夏の事故ゼロ運動の実施について	環境管理責任者
⑦	9月16日	社員詰所	社員全員	秋の全国交通安全運動の実施について	環境管理責任者
⑧	9月25日	社員詰所	社員全員	環境経営方針の再徹底について	環境管理責任者
⑨	10月28日	社員詰所	社員全員	過積載絶滅運動の実施について	環境管理責任者
⑩	10月28日	社員詰所	社員全員	おおいたグリーン事業者認証取得について	環境管理責任者
⑪	11月21日	社員詰所	社員全員	アルコールチェックの義務化について	環境管理責任者
⑫	12月2日	社員詰所	社員全員	おおいた冬の事故ゼロ運動の実施について	環境管理責任者
⑬	12月26日	社員詰所	社員全員	エコアクション21の今後の活動について	環境管理責任者